

令和4年度 新吉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当圏域の65歳以上の高齢者は約6,800人（高齢化率23.8%）で、その73%にあたる約5,000人が新吉田連合地区で、27%である約1,800人は新吉田あすなろ地区である。新吉田あすなろ地区の高齢化率は26.8%で区内トップで新吉田連合地区は22.9%で4位である。新吉田あすなろ地区に位置する新吉田東2丁目（新吉田自治会やパークホームズやイトーピア、フォルム綱島等のマンション群）の高齢化率27.3%で近年、急速に増加している。一方新吉田連合地区は新吉田東8丁目15%～新吉田町30%と高齢化率に幅がある。新吉田東1丁目は24.4%で東5、6丁目は27%代で7丁目は約29%と高い高齢化率が続いております。各連合地区の特性があり、同じ連合地区内でも各町内会単位の特性があり、各町内会単位の支援が必要と考えます。コロナ禍、地域住民による地区活動が鈍化し、地域住民による支え合いネットワーク構築の推進も停滞している。地域住民が安心して地区の活動が再開できるよう、感染への不安に寄り添い、適切な感染予防対策を助言できることが大切と考えます。

新規
継続

—具体的な取組内容—

- 地域ケアプラザ機能を地域へ周知理解されている。様々な地域の活動や会議等積極的に参加して、また、地域の商店や医療機関等にチラシの掲示を依頼したりして、地域ケアプラザ機能を積極的に周知することにより支援が必要な高齢者等が地域で孤立することなく早期に発見するための担い手協力を依頼し、適切な支援が迅速に届けられる地域ネットワーク構築を推進します。
- 地域に潜在している課題を把握して、課題解決に向けて支援が必要な方へ迅速に適正な支援が届けられる。ケアプラザが地域の様々な活動会議等に積極的に参加して、その課題を把握するとともに、地域の力を活用して支援が必要な方を早期に発見するネットワーク、その支援を地域で支えて下さる担い手の発掘します。地域で支え合う、共助の取り組みの継続支援、新たな仕組みづくりを支援します。
- 総合相談窓口体制は輪番制とし、迅速な相談対応に努めます。相談内容に応じた専門職種と連携を図り適正な支援に取り組むことで、地域からの信頼を重ねて参ります。また、個別の課題解決支援を積み重ね5職種間でその情報共有さらに介護保険事業との定期的な情報共有することで、潜在化した地域課題の抽出、その課題解決に向けた取り組みを一体的に行います。
- 地域住民が認知症について正しく理解できている。認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症サポーター養成講座の開催やキャラバンメイト育成支援します。また、地域の徘徊高齢者支援ネットワーク、さがしてネットの事務局を担い、合同模擬訓練をはじめ地域の方々の認知症高齢者への理解を広げ、地域住民による共助の取り組みを支援します。
- 新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず長期化する中、ケアプラザは地区活動の再開の重要性を発信するとともに、地域住民が少しでも安心して地区活動ができるように、感染への不安に寄り添い、適切な感染予防対策の助言ができるよう努めます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和4年度新吉田ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>総合相談窓口等ケアプラザ業務は、担当職員一人一人の言動を含め、利用者や事業者等から不信を招くことがないよう、公正・中立性を意識を高めた対応をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ケアプラン作成委託先の偏りがないよう努めます。 ・ケアマネジャー選定支援の際には複数の事業所を提示して選択肢があることを相談者にお伝えしたうえで、相談者が選定できるよう支援します。 ・居宅介護支援では、利用者の選択に基づき、提供される居宅サービスが特定の事業所に偏りことなく、適切なサービスが多様な事業所から総合的に提供されるように努めます。 ・部門別アンケートを年1回実施して、その業務の公正・中立性を振り返る機会を持ちます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者による建物・設備の定期的な保守点検、担当職員による日々の点検により、異常の早期発見し、適切な修繕を実施します。安全・安心な施設利用、サービス提供について、職員一人一人がその意識を高めるため、定期的な会議や日々のミーティング等でひやりはっと等の振り返りする時間を持ちます。 ・ドライブレコーダーの点数化機能を活用した自己点検等、安全運転意識の向上に努めます。 ・所長は個人情報管理者を担い、法令、法人の個人情報管理規定に基づいた、適切な個人情報管理に関する取り組みを推進します。 ・個人情報の取り扱いについて、職員一人一人が忙しくても、その取扱いルールを守るということが、漏洩防止になるという意識を高めます。 ・年に1回、個人情報の取り扱いに係る研修及びチェックシートを使った振り返りを実施します。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>その方が持つ能力や思い等、その方の特性を踏まえた生活機能向上を目標としたケアマネジメントを実施し、地域のインフォーマルサービス等多様なサービスの中からご自身で選択できるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その方が可能な限り居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスが適切に利用できるよう、ケアプランを作成するとともに、当該計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保できるよう、連絡調整します。 ・地域ケアプラザの居宅介護支援事業所であることを自覚し、丘の上倶楽部等でのリーダーシップを積極的に担い、地域の質の高いケアマネジメントを目指し、またその方が住む地域の社会資源開発に資する取り組みをして参ります。
利用料金・実費負担	<ul style="list-style-type: none"> ・法定代理受領サービスである場合は、ご利用者負担(利用料)はありません。 ・通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費(実費)の負担をお願いすることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法定代理受領サービスである場合は、ご利用者負担(利用料)はありません。 ・通常のサービス提供地域を越える地域に訪問・出張する必要がある場合は、その旅費(実費)の負担をお願いすることがあります。
職員体制	<p>管理者1名(社会福祉士) 主任介護支援専門員1名 保健師1名 社会福祉士1名 介護支援専門員(非常勤) 1名</p>	<p>管理者1名(主任介護支援専門員) 介護支援専門員4名(うち主任介護支援専門員3名)</p>
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金・実費負担			
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「新吉田地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(一般会計) <地域活動交流>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,190,000		19,190,000		19,190,000	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)	70,000		70,000		70,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
収入合計	19,260,000	0	19,260,000	0	19,260,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,482,062	0	13,482,062	0	13,482,062	
本俸	7,500,000		7,500,000		7,500,000	給与本俸
社会保険料	1,600,000		1,600,000		1,600,000	健康保険料、厚生年金料、雇用保険料、労災保険料
手当計	4,000,000		4,000,000		4,000,000	期末手当、超過勤務手当、通勤手当等
健康診断費	40,000		40,000		40,000	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000		10,000	ハマフレンド会費
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000		100,000	
その他	232,062		232,062		232,062	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	849,390	0	849,390	0	849,390	
旅費	10,000		10,000		10,000	市内出張交通費
消耗品費	69,390		69,390		69,390	事務消耗品費
会議開費	5,000		5,000		5,000	会議用品費
印刷製本費			0		0	
通信費	200,000		200,000		200,000	FAX・電話代、後納郵便代、切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	100,000		100,000		100,000	指定管理総合賠償保険、総合賠償保険
職員等研修費	15,000		15,000		15,000	研修用交通費、受講費等
振込手数料	50,000		50,000		50,000	振込手数料
リース料	150,000		150,000		150,000	空調マッド、AED、Wi-Fi機器、会計システム、防炎カーテン、プリンタ等リース料
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	250,000		250,000		250,000	保健衛生費、委託費、広報費、損害保険料、会費当
事業費	1,382,083	0	1,382,083	0	1,382,083	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)	1,340,083		1,340,083		1,340,083	
その他			0		0	
管理費	3,002,465	0	3,002,465	0	3,002,465	
光熱水費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	電気、ガス、水道料金
清掃費	700,000		700,000		700,000	清掃委託費
機械警備費			0		0	
設備保全費	502,465	0	502,465	0	502,465	
空調衛生設備保守	162,465		162,465		162,465	空調保守点検等
消防設備保守	80,000		80,000		80,000	消防設備点検等
電気設備保守	220,000		220,000		220,000	エレベーター、自動ドア保守点検等
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000		20,000	害虫駆除費
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	20,000		20,000		20,000	水質検査等
共益費			0		0	
その他	600,000		600,000		600,000	一般廃棄物処理費、植栽管理費等
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,190,000	0	19,190,000	0	19,190,000	
差引	70,000	0	70,000	0	70,000	

自主事業費 収入	70,000	0	70,000	0	70,000	自主事業への参加費
自主事業費 支出	1,340,083	0	1,340,083	0	1,340,083	自主事業経費
自主事業 収支	△ 1,270,083	0	△ 1,270,083	0	△ 1,270,083	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大目内の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度「新吉田地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(特別会計) <包括・介護予防・生活支援>

(単位:円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,314,000		30,314,000		30,314,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000		5,802,000	横浜市より
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【包括】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】			0		0	
自主事業収入(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
収入合計	36,270,000	0	36,270,000	0	36,270,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,751,508	0	32,751,508	0	32,751,508	
本俸	26,792,508		26,792,508		26,792,508	給与本俸
社会保険料	5,284,000		5,284,000		5,284,000	健康保険料、厚生年金料、雇用保険料、労災保険料
手当計	600,000		600,000		600,000	期末手当、超過勤務手当、通勤手当等
健康診断費	40,000		40,000		40,000	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000		35,000	ハマフレンド会費
退職給付引当金繰入額			0		0	
その他			0		0	医療福祉機構退職共済掛金
事務費	629,055	0	629,055	0	629,055	
旅費	35,000		35,000		35,000	市内出張交通費
消耗品費	100,000		100,000		100,000	事務消耗品費
会議賄い費	5,000		5,000		5,000	会議用品費
印刷製本費			0		0	
通信費	250,000		250,000		250,000	FAX・電話代、後納郵便代、切手代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料(横浜市への支出)			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	研修用交通費、受講費等
振込手数料	10,000		10,000		10,000	振込手数料
リース料	109,055		109,055		109,055	AED、会計システム、プリンタ、パソコン等リース料
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他	110,000		110,000		110,000	保健衛生費、委託費、広報費、損害保険料、会費当
事業費	1,978,694	0	1,978,694	0	1,978,694	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【包括】	1,076,694		1,076,694		1,076,694	予算:指定額
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【介護予防】	154,000		154,000		154,000	予算:指定額
自主事業費(指定管理料充当の自主事業)【生活支援】	118,000		118,000		118,000	予算:指定額
その他			0		0	
管理費	784,743	0	784,743	0	784,743	
光熱水費	504,743		504,743		504,743	電気、ガス、水道料金
清掃費	70,000		70,000		70,000	清掃委託費
機械整備費			0		0	
設備保全費	150,000	0	150,000	0	150,000	
空調衛生設備保守	40,000		40,000		40,000	空調保守点検等
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	消防設備点検等
電気設備保守	80,000		80,000		80,000	エレベーター、自動ドア保守点検等
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000		5,000	害虫駆除費
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	5,000		5,000		5,000	水質検査等
共益費			0		0	
その他	60,000		60,000		60,000	一般廃棄物処理費、植栽管理費等
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	36,270,000	0	36,270,000	0	36,270,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	1,348,694	0	1,348,694	0	1,348,694
自主事業 収支	△ 1,348,694	0	△ 1,348,694	0	△ 1,348,694

管理許可 目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可 目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可 目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:新吉田地域ケアプラザ

4年4月1日～ 5年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,000		3,000	3,000		3,000	23,500		23,500						
	その他	2,400	0	2,400	3,000	0	3,000	30	0	30						
	介護予防プラン委託料	2,400		2,400	3,000		3,000			0						
	認定調査委託費			0			0	30		30						
	利用者負担金収入			0			0			0						
	利用者食費収入			0			0			0						
				0			0			0						
	その他			0			0			0						
収入合計(A)	5,400	0	5,400	6,000	0	6,000	23,530	0	23,530							
支出	人件費	200		200	450		450	19,690		19,690						
	事務費			0	70		70	1,830		1,830						
	事業費			0	60		60	510		510						
	管理費	50		50	40		40	490		490						
	その他	2,400		2,400	3,000	0	3,000	80	0	80						
	介護予防プラン委託料	2,400		2,400	3,000		3,000			0						
	利用者外給食費			0			0			0						
				0			0			0						
				0			0			0						
	その他			0			0	80		80						
支出合計(B)	2,650	0	2,650	3,620	0	3,620	22,600	0	22,600							
収支 (A)-(B)	2,750	0	2,750	2,380	0	2,380	930	0	930							

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども 青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	はぐピョン	2004年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	安心して子どもを遊ばせることができる場の提供と保護者の交流・情報交換のための場の提供。また、読み聞かせや保育ボランティア育成のための機会として開催している。	3:養育者及び乳幼児		毎月第2月曜日と第4木曜日の10時～13時にケアプラザの多目的ホールを開放して行なう遊び場。ボランティア等による手遊び、季節のイベントなど開催。		
2	デイのいわ	2019年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	デイサービスの花壇をお手入れをきっかけに、様々なボランティア活動につながったり、要介護状態の高齢者のことを知っていただき、地域包括ケアを担う人材の発掘と育成をする。	5:地域		月に2回定期的な花の植え替えや世話をを行う。季節の花や野菜など、デイサービスのご利用者様に喜んでもらえるように計画。また、趣味を通して地域の方が交流できる場を提供し、園芸活動以外にも関心を持っていただけるよう支援		
3	園芸ボランティア「みらい」	2001年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	植栽の手入れを通じたボランティアの育成と団体支援。	1:高齢者		施設内の植栽の手入れなどの美化活動および、デイサービスの園芸活動のサポート。また、近隣の単身高齢者宅の草刈り、庭木の手入れ。主には第1水曜日・第3水曜日に活動。		
4	はつらつ倶楽部	2016年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	近隣の元気高齢者に対し、デイサービスで積み上げたノウハウを活かしながら、健康寿命延伸のための運動プログラムと脳トレプログラムを提供する。	1:高齢者		月に1回、介護保険を使っていない65歳以上の高齢者に集まっていたり、ロコモティブシンドローム予防プログラム、ドリルなどの問題集を取り組んでいただく。バスポイントからの送迎を行う。		
5	さわやかクラブ	2005年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	高齢者転倒骨折予防体操会を定期開催することによる、介護予防と交流を目的とする。	1:高齢者		新田地区センターにおいて、毎月第1・3月曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操。年1～2回程度のお楽しみ会を開催。		
6	新田クラブ	2002年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	介護予防のミニデイサービスとして開催。手芸や囲碁、将棋、麻雀など趣味活動を通じた仲間づくりを行い、高齢者の閉じこもりを予防する。また、ボランティア育成の場としても支援を行う。	1:高齢者		新田地区センターにおいて毎月第1・3水曜日13:30～15:00に開催。		
7	さわやか北部体操	2006年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	新吉田北部町内会の保健活動推進員による転倒骨折予防体操会。	1:高齢者		新吉田北部町内会館において、月2回第2・4金曜日の10時～11時30分に行なう転倒骨折予防体操会。年2～3回程度の交流イベントなどを開催		
8	さわやかクラブ虹	2002年	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	転倒骨折予防体操。ボランティアグループ虹を中心として運営。	1:高齢者		新田地区センターにおいて、月2回第2・4木曜日の10時～11時30分に開催。年2～3回程度のお楽しみイベントを開催。		
9	GOGO健康！元気づくり教室	2019年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の元気高齢者に介護予防やご自身の健康について関心を持っていただき、地域の皆さんの健康寿命の延伸を目指す講座。	1:高齢者		週1回連続4回の講座。スローエアロビクを取り入れ自宅でも気軽にできる全身ストレッチやフットケアなどを紹介。毎回ロコモ予防講座を行い、栄養改善・口腔ケア講座は1回ずつ実施。5月の毎週金曜日の開催。		
10	特な男の料理教室	2011年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	男性向けの講座。料理を通して自身の健康に興味を持って頂くだけでなく、退職後の元気な男性が地域活動をスタートさせるきっかけとなり、地域活動が活発になることを目的としている。	1:高齢者		コロナ禍のため定員を減らし個々で完結する形で実施。調理するメニューの食材選択の意味(栄養バランス)についてミニ講義を取り入れている。盛り付けはそれぞれ考えて行なうため、脳トレも兼ねている。今年度は8月、11月、3月に実施		
11	介護者のつどい	2011年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者たちが集まって悩みを話し合い、情報交換をしたり、日頃の介護疲れをリフレッシュしていただくことが目的。	5:地域	1	奇数月の第2木曜日13時30分～14:30(60分)ケアプラザで開催。介護をしている方、介護経験のある方を対象に茶話会方式で行っている。「介護を考えるぶどうの会」様と区役所職員が毎回参加。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども 青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
12	あすなろ会館 出張講座&相談会	2018年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	新吉田地域ケアプラザが担当地域エリアの高台に位置しており、交通の便が悪く、高齢の方に来所していただくには厳しい急坂があることやケアプラザの周知が課題としてあった。地域の相談機関としてケアプラザの存在と役割を知っていただく為、地域の会館をお借りして出張講座と相談会を開催することとした。	5:地域	1	毎月第3金曜日10時～12時新吉田あすなろ連合町内会のご協力を得て、あすなろ会館で開催。昨年度に引き続き地域の方向けに出張講座を開催。希望者については個別に講座終了後相談を受けるかたちとした。ケアプラザ職員が地域に出向き、毎回テーマを決めて講座を行う。1回目はデイサービス職員による「コグニサイズ」、2回目は包括職員による「高齢者の住まい」、3回目は1回目と同じくデイサービス職員による「コグニサイズ」、4回目は包括保健師による体力測定を予定している。制作したのぼり旗を今年度も設置し、地域のよろず相談窓口としての新吉田地域ケアプラザの周知も引き続き図っていく。		
13	特な男の健康講座	2014年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	男性をターゲットに絞った、介護予防のための健康体操と栄養・口腔ケアの講座	1:高齢者		7月～2月まで全8回の講座。今年度は新たに運動講師を迎える。キックやリズム体操を取り入れた、男性向けに筋力アップをうたった内容の体操1回ずつ予定している。また、栄養講座と口腔ケア講座も1回ずつ実施。		
14	医者が教えるPPK生活の秘訣	2017年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方向けに介護予防の講座を例年開催。協力医の荏原千登里先生とテーマを決めている。	5:地域		年1回11月下旬ごろ開催予定。		
15	保健福祉セミナー介護予防講座	2015年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	例年、新吉田地区保健活動推進員と共催で保健福祉セミナーを開催している。毎年、地域の皆さま向けにどのような講座を実施するか、打ち合わせのもとテーマを決定している。	7:その他		年1回11月頃実施予定。		
16	港北区版高齢者虐待ハンドブック研修	2017年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	港北区版高齢者虐待ハンドブックの周知と活用の仕方について事業所向けに研修を行う。	6:事業者		年1回事業所向けに実施する予定。		
17	生き活講座	2020年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	昨年度に引き続き、今の人生を自分らしく生きる「生き活講座」を開催。成年後見制度の案内・エンディングノートの書き方講座を行う予定。	5:地域		年1回10月ごろ開催予定。		
18	共生まつり	1995年	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	近隣の方へケアプラザや福祉について啓発するとともに、ケアプラザとかかわりのある活動団体のボランティア実践の場や、趣味活動団体の作品発表の場とする。	5:地域		10月に実施予定。法人内の施設と共催。		